— 学校・家庭・地域を結ぶ —

校報　綾の海

自ら学ぶ 心豊かなたくましい子ども
○考える子ども
○やさしい子ども
○元気な子ども

大船渡市立綾里小学校　校 報
令和３年６月１４日（月）　Ｎｏ．２１
TEL　４２－２１００　文責　熊谷 賢

職員紹介

５月２９日（土）の運動会の日から　　先生（１年ふれあい学級担任、５月２９日より産前休暇）に代わり　　先生が勤務されていますので、　介します。　先生は、昨年度も１年間本校で２年担任として勤務されていましたので覚えている方も多いと思います。とてもやる気のある元気な先生です。よろしくお願いします。

綾里をきれいに！第1回クリーンディ

６月８日(火)は「クリーンディ」活動に取り組みました。これは年に３回予定されているＪＲＣ委員会主催の児童会活動です。

この日、児童は各自ゴミ袋を手に登校しながら通学路に落ちているゴミを拾いながら登校しました。地区を見回っていると、とても入りこめない川岸に落ちているゴミを見て、「あれも拾いたいのに‥‥。」と残念そうにつぶやく児童もいました。

最終的に大サイズの市指定ゴミ袋４袋分の空き缶やペットボトル、燃えるゴミなどが集まり、児童昇降口でＪＲＣ委員が分別作業を行いました。

反省会の中でＪＲＣ委員長の　　さんは「これからも綾里をきれいにしていきましょう。」と委員会のメンバーを前　　くりました。児童だけでなく、地　　共の場所にゴミをポイ捨てしない　　ものだと思います。

このクリーン　　月と１１月にも行う予定です。

— 学校・家庭・地域を結ぶ —

校報　綾の海

自ら学ぶ 心豊かなたくましい子ども

○考える子ども
○やさしい子ども
○元気な子ども

大船渡市立綾里小学校　校 報
令和３年６月１６日（水）　Ｎｏ．２２
TEL　４２－２１００　文責　熊谷 賢

修学旅行：充実した二日間！

６月１０日（木）～１１日（金）は、学校の行事的活動が盛り沢山でした。１０日には３年生及び４年生の社会科見学、５年生の植樹体験学習があり、１１日には、３・４年生のアウトリーチ音楽体験がありました。そうした中での２日間、６年生は修学旅行に行ってきました。私も同行しました。今回も含めこれまで修学旅行に行ったのは１４回を数えますが、その中でも最高クラスの２日間でした。天気も見学地ももちろん良かったのですが、何より子どもたちの行動が素晴らしかった！チームワーク、時間の管理、人との接し方、公共マナー等々どれをとっても文句なし。バスガイドさんが別れ際、「この子たちのガイドをもう一度やりたい。」と涙ぐんでいたのが印象的でした。

初日（１０日）は猊鼻渓の舟下りからスタート。朝早く、他にほとんど利用客はいない中での舟下り体験。時折聞こえる鳥の鳴き声や魚の跳ねる音が、美しい渓谷の静けさをさらに際立たせていました。船頭さんの「げいび追分」が大自然の岩々にエコーのように響き渡り、実に感動的でした。

岩手サファリパークでは、キリンやダチョウなど大型動物の頭をなでたり餌を与えたりすることができました。動物園ではなかなかできない貴重な体験です。

中尊寺の見学では、親兄弟、親戚が殺し合わなければならない戦乱であった前九年合戦・後三年合戦の後、仏教により二度と戦のない平和な世の中を築こうとした藤原氏の精神性の一端を学ぶことができたと思います。「もっとこの子たちに語って聞かせたい。」という観光ガイドさんの熱意も感じました。

ホテルで感心したのは、食事の後片付けです。係の方から「食べた後の食器は運びやすいように重ねておいてください。」と言われただけなのに、写真の通りの“出来栄え”です。私たちの指導は一切ありません。

写真はPTAグーグルでご覧ください。

二日目（１１日）、最初の見学地は小岩井農場でした。好天の中、朝の気持ちの良い散策を楽しむことができました。

次に訪れたのは子ども科学館。様々な物体の不思議な現象や動きに驚きながらたっぷりと科学を体験しました。科学的な根拠は理解しきれていないかもしれませんが、科学への興味の種を蒔くことができたのではないかと思います。

最後は岩山パークランド。奥州市の胆沢愛宕小学校、水沢南小学校、陸前高田市の小友小学校、花巻市の石鳥谷小学校などの学校と一緒でした。熱い中、マスク着用で伸び伸びと楽しむ子どもたちでした。

— 学校・家庭・地域を結ぶ —

校報　綾の海

自ら学ぶ 心豊かなたくましい子ども
○考える子ども
○やさしい子ども
○元気な子ども

大船渡市立綾里小学校　校 報
令和３年６月１７日（木）　Ｎｏ．２３
TEL　４２－２１００　文責　熊谷 賢

新体力テスト実施

６月１５日（火）、体力・運動能力調査（通称：新体力テスト）を実施しました。スポーツテストなどとも呼ばれたりしますが、保護者の方も体験した記憶や思い出に残っている場面があるのではないでしょうか。（私などは、友だちとおしゃべりしながら「踏み台昇降」をしていて当時の先生にひどく叱られた記憶があります。）

ところで、「踏み台昇降」などは、今は行われていません。私たち大人世代が経験した体力テストは「小学校スポーツテスト」と呼ばれ、昭和４０年から平成１０年まで行われました。年齢層（６～９歳、１０～１１歳、１２歳以上）により種目は違いますが、網羅的に並べると、５０ｍ走、走り幅跳び、ハンド（ソフト）ボール投げ、懸垂腕屈伸（斜懸垂腕屈伸）、ジグザグドリブル、連続逆上がり、反復横跳び、垂直跳び、背筋力、握力、伏臥上体反らし、立位体前屈、踏み台昇降が行われていました。

その後、スポーツ医学の発展に伴い調査種目が見直され、平成１１年から今の新体力テストが行われるようになっています。種目は、小学生は共通８種目で、５０ｍ走、握力、反復横跳び、ソフトボール投げ、立ち幅跳び、上体起こし、長座体前屈、２０ｍシャトルランです。今回、上体起こしと長座体前屈の２種目は、試技者と測定者が非常に密接な距離になることから実施を見送りました。（※実施の可否及び種目制限についての判断は各学校に委ねられています。）

さて、今回実施された新体力テストは「コロナ禍が子どもの体力に与えた影響」という点で注目されます。震災後の「震災が子どもの体力に与えた影響」が思い出されるところです。

昨年度の本校の体力・運動能力は、全校的な傾向（綾里小は○○が優れている、○○が課題だ、など）は特にみられず、学年ごとにそれぞれの課題がありました。体育の学習等では、それらの課題を意識しながら授業を進めております。

立ち幅跳び

反復横跳び

ソフトボール投げ

— 学校・家庭・地域を結ぶ —

校報　綾の海

自ら学ぶ 心豊かなたくましい子ども
○考える子ども
○やさしい子ども
○元気な子ども

大船渡市立綾里小学校　校 報
令和３年６月２４日（木）　Ｎｏ．２４
TEL　４２－２１００　文責　熊谷 賢

児童会主催 全校遊び

６月１７日（木）の昼休み、児童会執行部が企画した全校遊びが行われました。これは文字通り学年の枠を取り払い、全校児童８４名が一つになって遊び、交流を深める児童会活動です。今年度は年に４回予定されています。この日の遊びは「こおり鬼」。元気いっぱいに校庭を走り回る子どもたちでした。

今回の全校遊びや委員会活動のような児童会活動、地域ごとの集団登校や子ども会活動、

日常的な縦割り班清掃といった異年齢集団の活動を通して、様々な人と触れ合うことの喜びや働くことの大切さを体験的に理解し、将来につなげてほしいと考えています。

全国に誇れると思う　チャイムのない学校が実現！

綾里小学校は、今年度４月１日から一切チャイムが鳴らない学校になりました。（故障ではありません。）

昨年度の学年末学校経営反省会で先生方から「チャイムは最低限の回数にしたい。」という意見が出されており、私も同意見でした。休み時間の終わりに鳴らすくらいでいいのでは‥‥程度に考えて担当者に任せっきりにしていたのですが、蓋を開けてみたら完全ノーチャイム。実はこのことを４月半ばまで気づきませんでした。というのも、子どもたちの動きが今まで通りで（つまり時間を守ってきちんと動いていて）変化がなかったからです。ノーチャイムを謳っている学校は全国的に徐々に増えているようですが、内実はなかなかうまく行っていないのが現実です。（特に荒れた学校では到底ムリ。）

綾里の子どもたちが素晴らしいのは、教師の強い指導などなくても無理なくできている点です。自分で気づく、周りに声をかける、その声が広がる、そして気持ちを切り替えて教室へ駆け戻る‥‥全国に誇れる光景です。

先日お伝えした修学旅行隊の見事な時間管理も、こうした日常生活の成果だと思っています。

— 学校・家庭・地域を結ぶ —

校報　綾の海

自ら学ぶ 心豊かなたくましい子ども
○考える子ども
○やさしい子ども
○元気な子ども

大船渡市立綾里小学校　校 報
令和３年６月２５日（金）　Ｎｏ．２５
TEL　４２－２１００　文責　熊谷 賢

本格実施2年目を迎えた外国語活動・英語科の授業

ご存知のように、新学習指導要領の告示後、小学校は２０２０年度から新しい教育課程が全面実施となっています。本格実施２年目を迎え、外国語活動・英語科の授業をどうすればいいのか、全国の小学校は試行錯誤しながら進めている真っ最中です。

本校は、令和元年度から校内の研究対象を外国語活動・英語科とし、「生き生きと自分の思いや考えを伝え合うことができる児童の育成」というテーマのもと、研究実践に取り組んでいます。

５月２０日（木）には５年生の研究授業、そして６月１８日（金）には４年研究授業が行われました。研究授業とは、授業を他の先生方に（ときには外部講師も交えて）参観していただき、授業改善に活かすための授業提案です。この研究授業は全学年が行う予定です。

新学習指導要領のもとでは、３・４年生は「外国語活動」として（教科ではないので評価を数値化することはありません。）週１時間、５・６年生は「英語科」という教科として（教科ですので国語や社会などと同様に評価欄に組み込まれ、評価結果が記入されます。）週２時間学習します。１・２年生も（新学習指導要領にはないのですが）外国語活動を行っています。といっても「外国語活動」や「英語科」という枠がありませんので、ＡＬＴ（Assistant Language Teacher）がいらしたときに、音楽科・体育科・学級活動などの授業に関わらせて活動しています。当然、通信票の内容も低・中・高学年では内容が違ってきます。（これについては学校からの文書と期末面談で説明いたします。）

指導主事の先生が語っていたのですが、新学習指導要領になってから「英語が好きだ」と答える割合がどんどん減少している」そうです。分かる気がします。一方、本校は「外国語（英語）が好き」と答える児童の割合がとても高い調査結果が出ています。これは、指導する先生方の創意工夫により、英語を使った楽しいゲームやコミュニケーションの場のある授業が展開されているからだと言えます。私としても、子どもたちが「英語が好きだ」という意識を維持したまま中学校にあげてやりたいと心から思っています。

４年研究授業より　ペアで「曜日クイズ」

大事なのは、ストレスのない楽しいコミュニケーションスキルです。分からなければその部分を日本語で話してもいい。ジェスチャーやボディランゲージも大歓迎。相手に伝えたいという思いを楽しく表現させたいものです。某テレビ番組で“出川イングリッシュ”が大人気でしたが、彼、いいですよね。「失敗を恐れない積極性」、「知っている英単語を何とか駆使して伝えようとする熱意」、「高レベルの非言語コミュニケーションスキル」。“出川になれ！”とは言わないけれど、楽しくて不思議に相手に伝えられる能力はとても参考になります。

４年研究授業より　「好きな曜日インタビュー」

— 学校・家庭・地域を結ぶ —

校報　綾の海

自ら学ぶ 心豊かなたくましい子ども

○考える子ども
○やさしい子ども
○元気な子ども

大船渡市立綾里小学校　校 報
令和３年６月３０日（水）　Ｎｏ．２６
TEL　４２－２１００　文責　熊谷 賢

水泳学習開始

６月１日（火）のプール清掃から３週間目、いよいよ水泳学習が始まります。

６月２２日（火）のあやさとタイム（昼休み時間）では、体育館で「プール開き」の式が行われました。式の中で、各学年の代表児童が自分のめあてを発表しました。

プール開き(6/22)で、自分のめあてを発表する各学年の代表児童たち。

今年のめあて

○　ぼくのプールのめあては、水にもぐれるようになることです。（１年：　　）

○　ぼくの今年のプールのめあては、水中で長く息を止めることです。（２年：　　）

○　ぼくの今年のめあては、２５m泳げるようになることです。そのためには夏休みに小学校のプールで２５mの練習をたくさんします。学校では先生の話をちゃんと聞いて泳ぐことをマスターしたいです。あとは、みんなとプールを楽しみたいです。（３年：　　）

○　いろいろな泳ぎ方があるけど、ぼくが特にがんばりたいのは平泳ぎです。２５m泳げるようになりたいです。そのために平泳ぎの練習をがんばりたいです。（４年：　　）

○　クロール２５mを３０秒くらいで泳げるようになりたいです。そのために授業や夏休みにたくさん泳いで体力をつけることや先生や友だちの話をよく聞いて、きれいなフォームで泳げるようになることをがんばりたいです。（５年：　　）

○　私がプール学習でがんばりたいことは、きれいなフォームで泳ぐことと、クロール、平泳ぎで長い距離を泳ぐことです。きれいなフォームで泳ぐことで長い距離を疲れずに泳ぐことができると思います。クロールや平泳ぎで長い距離を泳ぎたいのは、去年はB&Gのプールに通って平泳ぎをたくさん練習しましたが、苦手なクロールのやり方は練習できていなかったので今年のプール学習でしっかり泳げるようになりたいです。

また、６年間で最後のプール学習なので今までの泳ぎ方や学習をしっかり守りたいです。

今年のプール学習で楽しみなことは、６年生のみんなとプールで学習することです。今年で最後のプール学習なので、今の６年生のメンバーと思いっきり楽しんでプール学習をしたいと思います。今年も安全で楽しいプール学習にしたいです。（６年：　　）

翌、６月２３日（水）、さっそく３校時に３年生、５校時に４年生がプールに入りました。肌寒い感じでしたが「気持ち良かった！」と満面の笑顔の子どもたちでした。

— 学校・家庭・地域を結ぶ —

校報　綾の海

自ら学ぶ 心豊かなたくましい子ども
○考える子ども
○やさしい子ども
○元気な子ども

大船渡市立綾里小学校　校 報
令和３年７月５日（月）　Ｎｏ．２７
TEL　４２－２１００　文責　熊谷 賢

5年宿泊体験学習をふり返って

６月２３日（水）、２４日（木）の２日間、５年生２０名は、陸中海岸青少年の家に宿泊研修に行ってきました。天候が心配された２日間でしたが、すべての体験活動が予定通りに行われ、そして体調を崩す子もなく、充実した２日間を送ることができました。

この研修で、子どもたちが大事にしていたのは、学校生活で意識している当たり前の行動をとることでした。初日の入所式で、所の先生から「学校生活を同じように、きまりを守った行動をとること。」を話されました。特にも、時間を意識した行動については、強く意識していたように見られました。そのため、子どもたちからは、「5分前行動」という言葉が、様々な活動場面で聞かれました。

特にこの研修で印象に残っているのは、仲間の誰一人取り残さないという意識でした。アニマルハンティングでぬかるんだ道に足を取られ転んでしまった友だちに対してかけるやさしい言葉。沢登りで集団から遅れそうになる友だちに対しては手を貸してあげる姿がありました。

１日目に野外炊事に携わってくださった所の先生からは、後片付け後の点検が終わった後、次のような言葉をいただきました。

「どうしてもこのような作業には、一人二人と参加しない子がいるものです。しかし後片付けを、綾里小学校の子どもたちはこのように全員で行う姿に感動しました。この姿を見せられると、やり直しとはなかなか言えません。」

また、１日目に写真を撮りに来てくださったカメラマンの方は、

「カメラを向けるとこっちを向いてちゃんとポーズをとってくれる。本当に気持ちの良い子どもたちでした。」

と話されました。

２日目に沢登りを担当した先生からは、

「みんなの協力する姿、みんなでまとまって話を聞ける姿が素晴らしい。」

ということも話されました。

５年生の子どもたちは、綾里小学校の良さを示しながらリーダーとしての資質を向上させることができたと思います。この２日間で身につけた力を、これからの学校生活で存分に発揮し、６年生と共にこの学校を引っ張ってほしいと願っています。（文：副校長　　）

— 学校・家庭・地域を結ぶ —

校報　綾の海

自ら学ぶ 心豊かなたくましい子ども

○考える子ども
○やさしい子ども
○元気な子ども

大船渡市立綾里小学校　校 報
令和３年７月７日（水）　Ｎｏ．２８
TEL　４２－２１００　文責　熊谷 賢

学校生活スナップショット

６月 22 日（火）、大船渡北学校給食共同調理場の　栄養教諭を講師にお招きし、「おやつの正しい取り方」について学習をしました。おやつとおかしはちがうこと。おやつは栄養を補う役割があることなどを学びました。

６月 23 日（水）は、１年生の生活科探検でした。「つむぎの家」に行って、夏の生き物に触れたり、千田さんからお話を伺ったりしながら伸び伸びと活動しました。

７月５日（月）、七夕飾りが始まりました。児童昇降口に用務員の　さんが準備してくださった竹が３本設置され、「おりがみがうまくなりたい」「コロナが収まってマスクなしの生活にもどれますように」など、思い思いの願いごとが飾られました。

陸上競技記録会に向けた記録測定が始まっています。今年度から５・６年生の出場、男子の長距離は 800mになるなど大会運営も変更されています。コロナ対策の一つとして、「一般参加者は参加児童の同居家族のみ」という制限が設けられましたが、選手・応援団共に精一杯力を発揮してほしいと思います。写真は、昼休みに自分たちが跳ぶ幅跳び試技場(砂場)を整備する５-６年生たち。

— 学校・家庭・地域を結ぶ —

校報　綾の海

自ら学ぶ 心豊かなたくましい子ども
○考える子ども
○やさしい子ども
○元気な子ども

大船渡市立綾里小学校　校 報
令和３年７月８日（木）　Ｎｏ．２９
TEL　４２－２１００　文責　熊谷 賢

5年 田んぼの草取り

７月６日（火）、５年生が水田の雑草取り作業を行いました。

(児童の感想より)

最初は簡単そうだなと思ったけど、やってみると難しかったので、耕基さんや永久世さんはたくさんの田をいっしょうけんめいやっていてすごいなぁと思いました。

雑草を取っている時に、「あっ、これ稲かな？」と言って困っていると、　君が「くき、三角？三角だったら取っていいんだよ。」と教えてくれたので稲を取ってしまうことがなくて良かったです。

それに、みんな協力してくれたのでうれしかったです。　さんは両手で取っていてすごいなぁと思いました。

今日は初めて田の草取りをしたけど、次の「稲作チャレンジ」は、もっとがんばりたいです。（　　）

雑草にはいろいろな種類があることを知りました。雑草は抜けやすくて、稲は抜けにくいことも初めて知りました。耕基さんや永久世さんの説明が分かりやすかったので無事に雑草取りができました。

田んぼにはいろいろな生き物がいました。

田植えの時は、３本ぐらい植えたのが１０本ぐらいに増えていたのでびっくりしました。

はやくもちつきがしたいと思います。

（　　）

お知らせ

○準優勝おめでとうございます！

綾里はまっこスポーツ少年団（　　監督）が、第３５回岩手県学童軟式野球選手権大会もりしんカップ市内大会で準優勝を勝ち取りました。おめでとうございます。

○東日本大震災被災状況調査の提出について

６月２８日付で配布いたしました「東日本大震災被災状況調査」のご回答ありがとうございます。未提出の方は、７月１２日（月）までにご提出いただきますようよろしくお願いいたします。

○タブレット文書に関する補足説明

７月５日付で教育長(大船渡市教育委員会)名のタブレットに関係する文書が３部配布されました。

文書にも書かれてありますが、当面、タブレットは学校でのみ使用し、ご家庭に持ちかえることはしません。(市内共通)

文書の内容は、ご家庭に持ちかえることができるようになった時のルールに関する覚書とご理解いただければ幸いです。

— 学校・家庭・地域を結ぶ —

校報　綾の海

自ら学ぶ 心豊かなたくましい子ども

○考える子ども
○やさしい子ども
○元気な子ども

大船渡市立綾里小学校　校 報
令和３年７月１２日（月）　Ｎｏ．３０
TEL　４２－２１００　文責　熊谷 賢

3年 総合的な学習「綾里わくわく探検隊」

７月８日（木）、３年生がワカメの芯抜き作業を体験しました。これは３年生の総合的な学習のテーマ「わくわく綾里探検隊」の活動の一環として「綾里の自慢のワカメについて学習させたり芯抜きの体験をさせたりしたい。」という思いから地域の方のご協力を得て実施しました。来年度以降もこの体験活動を取り入れていこうと考えています。

この日、講師を務めてくださったのは、　　さんの３名です。

作業に先立ち、　　さんから、胞子の育て方、間引き、ボイル作業、芯抜きなどワカメ養殖の１年間のサイクルを学びました。

作業に入ると、「みんな上手！このままアルバイトができるよ！」などと話しかけられてもほとんど言葉を発せず、驚くほどの集中力で作業に取り組みました。３年生では、１１人中５人がワカメの仕事を手伝った経験があるそうです。

ワカメの芯抜き体験

上手に出来たご褒美に早採りワカメの冷凍パックをいただき、最後に　　さんが手品を披露してくださいました。

３年生の「わくわく綾里探検隊」の活動は、この後、漁船の見学、漁協の方のお話を聞く会と続き、地域を学ぶ学習を展開していく予定です。